

受理官庁 ID	知的所有権総局 (インドネシア)	附属書 C ID
右の国の国民及び居住者の管轄受理官庁	インドネシア	
国際出願の作成に用いることができる言語	英語	
願書の提出に用いることができる言語	英語	
紙形式について受理官庁が要求する部数	1	
受理官庁は電子形式による国際出願を認めるか？ ^{1, 2, 3}	認める。受理官庁はePCT出願による電子出願を認める。	
受理官庁は優先権の回復請求を認めるか (PCT規則26の2.3)？	認めない	
管轄国際調査機関	オーストラリア特許庁，欧州特許庁，連邦知的所有権行政局 (Rospatent) (ロシア連邦)，シンガポール知的所有権庁，日本国特許庁 (JPO) 又は韓国知的所有権庁	
管轄国際予備審査機関	オーストラリア特許庁，欧州特許庁 ⁴ ，連邦知的所有権行政局 (Rospatent) (ロシア連邦)，シンガポール知的所有権庁 ⁴ ，日本国特許庁 (JPO) ⁴ 又は韓国知的所有権庁	

[次頁に続く]

- 1 国際出願が、実施細則第7部及び附属書Fの規定に従い、その範囲内で電子形式によって行われている場合には、国際出願手数料の総額は減額される（「受理官庁に支払うべき手数料」参照）。
- 2 国際出願に、明細書と別個の部分として配列リストが含まれている場合には、実施細則附属書Cに従い、すなわち、WIPO標準ST.25テキスト形式に適合したものを提出することが望ましい。この形式で配列リストを提出すれば追加手数料は不要である。ただし、この配列リストを画像ファイル形式（PDFなど）で提出した場合には、各頁につき手数料を支払う（2009年5月14日付公示（PCT公報）79頁参照）。
- 3 関連する受理官庁の通告については、2016年1月14日付公示（PCT公報）11頁以降参照。
- 4 この官庁は、国際調査を同官庁が実施する（又は実施した）場合に限り、管轄する。

I D	知的所有権総局 (インドネシア) (続き)	I D
受理官庁に支払うべき手数料	通貨：インドネシア・ルピア (IDR)	
送付手数料	IDR 1,000,000	
国際出願手数料 ⁵	1,330 スイス・フランに相当する IDR の額	
30枚を超える1枚ごとの手数料 ⁵	15 スイス・フランに相当する IDR の額	
減額 (手数料表第4項に基づく) :		
電子出願 (文字コード形式による願書)	200 スイス・フランに相当する IDR の額	
電子出願 (文字コード形式による願書, 明細書, 請求の範囲及び要約)	300 スイス・フランに相当する IDR の額	
調査手数料	出願人が選択した国際調査機関に支払われるべき調査手数料に 相当する IDR の額 附属書D (AU), (EP), (JP), (KR), (RU) 又は (SG) 参照	
優先権書類の手数料 (PCT規則17.1(b))	IDR 300,000	
受理官庁は代理人を要求するか?	不要, 出願人がインドネシアに居住している場合 要, 出願人がインドネシアの非居住者である場合	
誰が代理人として行為できるか?	インドネシアで登録されている特許コンサルタント	

⁵ この手数料は、一定の条件が適用される場合に90%減額される (附属書C (IB) 参照)。